

氏名 渡 邊 洋 一

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 乙 第 1596 号

学 位 授 与 の 日 付 昭和60年 9 月30日

学 位 授 与 の 要 件 博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）

学 位 論 文 題 目 ヒト肺癌実験モデルの作製に関する研究

第 1 編 ヒト肺扁平上皮癌細胞株（EBC-1 株）およびヒト
肺腺癌細胞株（ABC-1 株）の樹立とその性状第 2 編 ヒト肺扁平上皮癌細胞株（EBC-1 株）およびヒト
肺腺癌細胞株（ABC-1 株）の異種移植

論 文 審 査 委 員 教授 長島秀夫 教授 太田善介 教授 佐藤二郎

学位論文内容の要旨

第 1 編

肺扁平上皮癌患者皮下転移巣由来のヒト肺扁平上皮癌細胞株（EBC-1 株）と、肺腺癌患者癌性胸膜炎胸水由来のヒト肺腺癌細胞株（ABC-1 株）の樹立に成功した。EBC-1 株は、180代の継代数を数えており、形態学的に低分化型扁平上皮癌の特徴をよく有していた。ABC-1 株は、190代の継代数を数えており、形態学的に低分化型腺癌の特徴をよく有していた。これら 2 つのヒト肺癌細胞株は、肺癌の組織型による生物学的特異性の検討、各種治療法の基礎的研究において有用な実験系であると考えられた。

第 2 編

ヒト肺扁平上皮癌細胞株（EBC-1 株）およびヒト肺腺癌細胞株（ABC-1 株）を、ヒト肺癌動物実験モデルの作製を目的に、抗リンパ球血清（ALS）処置新生児ハムスターとヌードマウスに移植した。二つの細胞株は、ALS 処置新生児ハムスターおよびヌードマウスに可移植性であった。なかでも、EBC-1 株のハムスター移植系は、移植率 94.7% と安定した腫瘍増殖を示し、継代移植が可能であり、肺に 77.8% と高率に転移を示すといった従来への報告にない特徴をもち、ヒト肺癌の基礎的研究に有用な実験系であると考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究はヒト肺扁平上皮癌細胞株（EBC－1 株）およびヒト肺腺癌細胞株（ABC－1 株）を樹立すると共に異種移植系の作製を試みた。

とくに、EBC－1 株のハムスター移植系がヒト肺癌の基礎的研究に有用であることを明らかにしたもので、この方面の研究に重要な知見を加えたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。